

### 〔付録3〕 参考文献の書き方

雑誌記事の場合：著者名は3名までは全員記載する。  
但し、4名以上の場合は3名連記の上、「\_\_、他」あるいは  
「\_\_, et al」とする。

著者名・論文名・雑誌名 発行年；巻(号)：ページ数。

1)坂下亮子，杉本勝也，福屋裕子，他．<sup>123</sup>I-MIBG心筋シンチ  
グラフィにおける低中エネルギー用コリメータの有用性．  
日放技学誌 2007；63(2)：241-246．

2)Shope TB, Gagne RM, Johnson GC. A method for describ-  
ing the doses delivered by transmission x-ray computed to-

mography. Med Phys 1981; 8(4) 488-495.

3)Nishimura Y, Fukuchi K, Katafuchi T, et al. Superimposed  
display of coronary artery on gated myocardial perfusion  
scintigraphy. J Nucl Med 2004; 45(9) 1444-1449.

4)Erdi YE, Mawlawi O, Larson SM, et al. Segmentation of lung  
lesion volume by adaptive positron emission tomography  
image thresholding. Cancer 1997; 80(12 suppl) 2505-2509.

特集号の雑誌記事の場合

特集表題・雑誌名 発行年；巻(号)：ページ数．

- 4)小特集 最近の地中送電線技術．電気学会雑誌 1983；103  
(12)：1177-1203．

図書1冊を参照する場合

著者名・書名・出版地：出版社，発行年．

- 5)吹抜敬彦．画像のデジタル信号処理．東京：日刊工業新聞社，1981．

図書の一部を参照する場合

著者名・論文名(章の見出し)．書名．出版社，出版地，  
発行年：ページ数．

- 6)横野重喜，高橋正昭，小野口昌久，他．2-1 装置の原理．  
超実践マニュアルRI．医療科学社，東京，2006：227-256．

雑誌形態のシンポジウム等の会議報告の1論文の場合

著者名・論文名・報告会議名，開催地，開催年月，会議  
主催機関，雑誌名 発行年；巻(号)：ページ数．

- 7)庄司安明．脳血流測定の技術的諸問題 - 核医学における局  
所脳血流量測定．第52回総会学術大会シンポジウムIII，横  
浜，1996-4，日本放射線技術学会，日放技学誌 1997；53  
(4)：522-526．

雑誌へ投稿中の論文のうち掲載が決定している場合

著者名・論文名・雑誌名 発行年；巻(号)：ページ数．  
掲載予定．

私信(未刊行資料)の場合

著者名・論文名・発行年・私信．

注 意

著 者：3名以内の場合は，全員記載．英文の場合，

\_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

4名以上の場合は，\_\_\_\_，\_\_\_\_，\_\_\_\_，他  
(英文の場合，et al)

姓 名：姓・名の順に記載．

外国人または，英文の場合，名は頭文字だけで  
よい．

雑誌名：(1)和文誌名は，原則として略記せずに完全誌  
名を記述する．ただし，略記形が明確に確  
認できる場合は略記してもよい．

(2)欧文誌名は，国際的慣行に従って略記する．  
ただし，略記形が確認できない場合は完全誌  
名を記述する〔付録4〕．